

宮城県議会第396回(令和7年6月)定例会を終えました！

6月12日、宮城県議会第396回(令和7年6月)定例会が開会されました。この議会においては、県民会館とみやぎNPOプラザを移転・集約してつくる新しい複合施設の工事契約を結ぶための議案、職員への選択的週休3日制の全面導入に向けた条例改正案、物価高騰対策を盛り込んだ12億円規模の補正予算案など28議案が提出され、最終日に賛成多数で可決・成立しました。議員提案の意見書では、「[米の価格高騰対策と安定供給を求める意見書](#)」「[米国の関税措置に対応した中小企業等支援策の拡充を求める意見書](#)」「[診療報酬及び介護報酬の引上げを求める意見書](#)」を全会一致で可決しました。

総務企画委員会

5月22日《白石市文化体育活動センターホワイトキューブ》
第17回宮城県飲酒運転根絶県民大会にお招きいただき、県議会議長代理で祝辞を述べました

5月23日《県内調査》
一般社団法人女川未来会議出島プロジェクト「離島振興・活性化・魅力PRの取組について」
名取市消防本部「消防団員確保など成り手不足に係る取組について」
東北学院大学五橋キャンパス「アーバンスクールの地元商店街等と連携した取組について」

5月24日《山元町岩機ダイカスト工業株式会社小平工場敷地内》
令和7年度宮城県林野火災防ぎょ訓練に宮城県議会総務企画委員長として出席

7月19日
報告事項、宮城県における若年層の転出が県内経済に与える影響の分析

7月31日～8月1日《県外調査》
「大学生消防防災サークル支援事業『京都学生FAST(Fire and Safety Team)』について」(京都府議会)、「自動運転の社会実装を目指した取組について」(STATION Ai愛知県)

県民所得向上対策調査特別委員会

5月12日～13日《県内調査》
株式会社佐浦(塩竈市)「日本酒の輸出について」
JAみやぎ登米(登米市)「コメの輸出について」
株式会社ヤマコ佐藤(登米市)「県産木材の輸出について」
鳴子温泉郷観光協会(大崎市)「インバウンド対策及び誘客について」
株式会社タカシヨク(栗原市)「コメの輸出について」

6月2日～4日《県外調査》
「京都『食の世界便』プロジェクトについて」(京都府商工労働観光部産業振興課)
「企業に対する輸出支援について」(ジェトロ名古屋貿易情報センター)
「販路開拓支援について」(岐阜県商工労働部県産品流通支援課、農政部農産物流通課)
「インバウンド対策について」(名古屋市観光推進課)

政務活動費運用検討会議

7月19日
宿泊費上限について座長案で全会派一致
各種ポイントの取り扱いについては
各会派で議論していただいた案を共有、意見交換



令和7年度6月補正予算(第1号)の主な内容

保護者負担の軽減に向けた、
私立学校の給食食材価格高騰分への助成

私立学校給食食材価格高騰対策事業

7,800万円

県立学校給食食材価格高騰対策事業

2,520万円

高齢者施設、障害福祉施設、児童福祉施設等に対する
光熱費等のかかり増し経費への助成

社会福祉施設等物価高騰対策事業

1億860万円

学校給食用県産米の
かかり増し経費への助成

学校給食米価高騰対策事業

6,380万円

自由民主党活動

- 5月24日泉中央セルバ前、八乙女駅にて自民党泉区支部街頭演説会に参加
- 6月17日松栄不動産にて、自民党宮城野区支部主催街頭演説会に参加
- 6月25日、自由民主党宮城県第二選挙区支部設立大会を開催し
高市早苗衆議院議員・前経済安全保障担当大臣よりご講演いただきました



宮城野区・若林区・泉区において開催された 石川光次郎個人演説会で応援弁士を務めました

- 【若林区】7月4日／保春院
- 【宮城野区】7月13日／榴岡天満宮
- 【若林区】7月13日／七郷市民センター
- 【泉区】7月17日／長命ヶ丘中央集会所
- 【宮城野区】7月17日／福田町横丁集会所



参院選期間中は石川光次郎候補をはじめ
自民党比例候補、友党公明党の佐々木雅文候補の応援
中央からの応援弁士による街頭演説会に参加しました

渡辺勝幸が取り組んだ活動について(令和7年5月～7月)

県民の皆様から頂いた要望、行政調査・説明等、渡辺勝幸が今期取り組んだ政策テーマ及びその活動の主なものについてご報告します
一つでも多くの県民の声が政策として実現できるようさらなる努力をしてまいります

- 依光晃一郎高知県香美市長の宮城県視察、若林区のアクアイグニス仙台に同行
- 日本赤十字社名誉副総裁であられる秋篠宮皇嗣妃殿下の御臨席を仰ぎ開催された「第61回献血運動推進全国大会」《仙台サンプラザ》
- 仙台市市制施行136周年記念式《日立システムズホール仙台》
- 令和7年度北方領土返還要求県民フォーラム及び宮城県会議総会《ホテルメトロポリタン仙台》
- 「支倉都市同盟」に向けて、スペインのコリア・デル・リオ市長と村井知事とのオンライン会議が実施され、同席
- 救う会宮城・宮城県議会拉致議連・仙台市議会拉致議連による、北朝鮮による拉致被害者を救うための署名活動《藤崎ファーストタワー前》
- スタートアップ調査・意見交換、東北大学の橋本さんのアテンドで、スパークル株式会社によるベンチャー創出事業、YUI NOSのスタートアップ支援事業
- 令和7年度宮城県障害者スポーツ指導者協議会定期総会《宮城県障害者福祉センター》

6月1日 宮城県・仙台市障害者スポーツ大会を開催しました！

会場／弘進ゴムアスリートパーク仙台

村井嘉浩宮城県知事、郡和子仙台市長をはじめ多くのご来賓の皆さまをお招きし
第33回宮城県・仙台市障害者スポーツ大会
陸上競技大会を開催しました
実行委員長として、開会宣言を行いました



6月3日 宮城県私立幼稚園PTA連合会、会長に就任しました！

宮城県私立幼稚園PTA連合会令和7年度総会において
佐々木幸士会長の後任として、渡辺勝幸が選出されました
引き続き、幼児教育の充実、子育て支援政策に積極的に取り組んでまいります

その他活動

- ◆令和7年度宮城県ラグビーフットボール協会総会懇親会に、協会参与として出席《ホテル白萩》
- ◆遠藤隼人県議後援会第13回集会県政報告会・勉強会《TKPガーデンシティ仙台》
- ◆神道政治連盟・神道政治連盟国会議員懇談会結成55周年記念式典・講演会・懇親会に出席《ホテルニューオータニ》
感謝状贈呈地方議員連盟の部で、神道政治連盟宮城県本部議員連絡協議会が表彰の栄に浴し、幹事長として登壇
- ◆株式会社深松組創業100周年記念祝賀会《江陽グランドホテル》
- ◆第34回仙台米山会交流の集い《ホテルJALシティ仙台》
- ◆社会福祉法人ライフの学校令和7年度第1回評議員会《TKPガーデンシティ仙台》
- ◆仙台市立沖野中学校創立40周年記念校内合唱コンクール《若林区文化センター》
- ◆杜都法律事務所・我妻法律事務所講演会懇親会《仙台国際ホテル》
- ◆聖ウルスラ学院英智教育研究実践後援会2025年度第1回総会《聖ウルスラ学院英智一本杉キャンパス》
- ◆仙台東倫理法人会設立20周年記念式典・祝賀会《仙台サンプラザ》

宮城野区東仙台地区

5月18日御立場町内会集会所にて、御立場町内会懇親会に石川光次郎さんとともにお招きいただきました

宮城野区高砂地区

7月5日なかの伝承の丘にて、地域の皆さんの公園維持管理活動
7月20日やまやシーサイドパークにて、日本サーフィン連盟公認「やまや仙台新港マスターズ2025」開会式

宮城野区榴岡地区

7月7日仙台サンプラザにて、松本よしお県議の七夕交流会

若林区南小泉地区

5月17日古城コミュニティ・センター大ホールにて、南小泉地区町内連合会2025年度(令和7年度)定期総会
6月22日、ねこまつり本祭り(2時22分のニャーにギリギリ間に合う)

若林区連坊地区

6月15日、令和7年須賀神社祭典神輿渡御に祭典委員会相談役として参加

質問1／宮城県と仙台市の連携について

(1)防災庁の設置について、東日本大震災の経験や東京からのアクセスの点から有力な候補地である仙台市と連携して要望すべきと考えるがどうか。

知事

政府は、徹底した事前防災や平時から復旧・復興までの一貫した災害対応を担う司令塔となる組織として、来年度に防災庁を設置することとしており、現在その具体的な機能や体制について検討が進められている。その設置場所について、我が県は、東日本大震災からの復興を通して得た経験と知見があり、首都圏等へのアクセスも良く、学術研究機関や教育機関の立地も含め、防災庁の設置場所として有力な候補地。先日行った政府要望の際にも、私自らが県の優位性の高さを国に対して訴えた。誘致を表明している仙台市と連携し、適切に対応してまいりたい。

(2)フルーズ船の寄港が少ない仙台塩釜港仙台湾区におけるポートセールスについて、仙台市と連携して取り組むべきと考えるがどうか。

土木部長

仙台塩釜港仙台湾区は、東北の暮らしや経済活動を牽引する重要な物流・産業拠点であり、フルーズ船を含む港湾利用の促進は、地域経済の発展や観光振興等に大きく寄与することから、港湾が所在する仙台市と連携したポートセールスの充実・強化は、たいへん重要。これまで、県では、更なる集貨・創貨に向けて、荷主等を対象に、「仙台湾首都圏セミナー」や「仙台湾・仙台空港視察セミナー」を開催してきたほか、昨年度は初めて東北経済連合会や仙台市などと連携しながら、海外のフルーズ船社を県内に招聘し、現地視察を行うなど、フルーズ船の更なる寄港に向けた誘致活動を実施。県としては、引き続き、仙台市をはじめ、周辺自治体や関係団体と緊密に連携しながら、貨物取扱量の拡大やフルーズ船の誘致など、仙台塩釜港の更なる発展に向けて、積極的なポートセールスにしっかりと取り組んでいく。

(3)民間資本の投資促進による税収増や、インバウンドによる経済活性化が期待される高級ホテルの誘致について、仙台市と連携して取り組むべきと考えるがどうか。

詳細は

渡辺勝幸ウェブサイト

・・・・・・・・・・・・・・・・

質問2／富県宮城の推進とその課題について

(1)世界各国が巨額の予算を投下し、全国の自治体が積極的に誘致活動を進めている半導体産業について、現時点での工場誘致の進捗状況はどうか。

詳細は

渡辺勝幸ウェブサイト

(2)半導体人材は不足しており、工場誘致の実現を見据え、いまから人材育成について積極的に取り組むべきと考えるがどうか。

詳細は

渡辺勝幸ウェブサイト

(3)先日、仙台市内の技能実習生研修の現場を視察したが、研修講師の方から、今後外国人をわが国が受け入れるにあたり、懸念する点が多いとの意見をいただいた。実態を鑑みると、このままの体制で外国人をどんどん受け入れてしまうと大変なことになるのではないか。土葬の議論をする前に、やるべきことがたくさんある。外国人材の受入れには、日本語だけでなく、伝統や文化、生活ルールの理解が重要であると考えるが、現状認識と見解はどうか。

経済商工観光部長

今後、外交人材を積極的に受け入れていくためには、多文化共生を進めていく必要があり、そのためにも、外国人の人材に日本の伝統文化や生活ルールへの理解を深めていただくことが重要。このため県では、県国際化協会と連携して、伝統文化の体験事業や、生活習慣を含めた日本語講座等、様々な取組を実施。さらに、現在、全庁を挙げて取り組んでいる「インドネシア人材みやぎジョブフェア2025」の実施に当たっては、指摘のあった懸念も踏まえ、日本語教育だけではなく、日本の生活習慣等も含めて事前に研修を実施している優良な送り出し機関に限りお招きすることとしている。このほか、今年度、新規事業として実施するインドネシア人向けの実践的な日本語講座の中では、ごみの分別方法や、騒音など御近所への配慮を含めた生活習慣に関する講座も設けることとしている。今後も、県内企業が直面する深刻な人手不足に対応するため、外国人材の受入れを進める必要があることから、多文化共生社会の実現に向け、積極的に取り組んでいく。

(4)スタートアップ支援策の現状と課題はどうか。また、起業家の成長意欲と運動するよう、成果報酬型の支援制度を設計すべきと考えるがどうか。

経済商工観光部長

我が県の地域経済の活性化や雇用創出を図る上で、スタートアップへの支援は重要。県では様々な支援策を講じている。初期段階での支援としては、起業家への「スタートアップ加速化支援事業」を実施、商品開発費などの経費を幅広く対象として、2年間の補助金交付と5年間の伴走型支援により、これまで305件の創業を支援するなど、一定の成果を挙げているが、一方で、支援期間後の事業継続をいかにサポートするかが課題。県では、新商品開発や新たな販路開拓のための支援事業など、様々なメニューを用意しており、スタートアップがこうした支援制度も活用して事業継続を図ることが重要。議員の御提案を受け、例えば、目標を達成した意欲あるスタートアップが、これらの支援制度の優先採択を受けられるようにするなど、制度の見直しを検討していく。

質問3／子供たちの国語教育とスポーツについて

(1)母語である日本語の読み書きは学習の基礎中の基礎であり、学校図書館や電子図書館の活用を含め、国語教育の充実強化を図るべきと考えるがどうか。

詳細は

渡辺勝幸ウェブサイト

(2)仙台市では、進学する中学校に希望する競技の部活動がないため、隣りの中学校への進学を希望するという事例が少なからず生じている。地域によっては隣りの学校との距離がある場合、自分のやりたいスポーツを断念するという選択にもつながりかねない。また、県内の中学校では近年、二校や三校で合同部活を実施しているところが増加しており、その移動にも大きな負担が生じている。子供たちが希望する部活動に参加できるよう、機会創出や移動負担軽減などの支援が重要であると考えるがどうか。

教育長

県内どこに住んでいても、子供たちが、自分の希望するスポーツに取り組める環境を確保するとともに、スポーツを通して、子供たちが運動することへの意欲や体力を高めることは重要。一方、少子化が進展する中、県内中学校では令和6年度はのべ174校で、合同部活動を実施。こうした状況などから、子供たちの運動機会創出のため、角田市や大崎市などでは、地域クラブを活用し、特定の種目・分野に限らない様々な活動を行っており、県でも地域クラブ活動指導者研修会などを通じて、受け皿づくりを支援。また、新たな取組として、今般、古川工業高校が大崎市教育委員会と覚書を締結し、連携して中学生の休日の部活動を支援することとした。県教委としては、引き続き市町村と連携し、子供たちが希望する部活動に取り組めるよう、国の動向も注視しながら、支援の在り方について、検討していく。

(3)幼児教育の質の確保には、エビデンスに基づく政策判断が重要だと考えるが、今後の取組の方向性はどうか。

詳細は

渡辺勝幸ウェブサイト

・・・・・・・・・・・・・・・・

質問4／安全、安心な日本、宮城県について

(1)自転車利用者におけるヘルメット着用の努力義務化から2年以上が経過し着用率の低下を感じており、事前の広報啓発活動や交通安全教育が重要と考えるがどうか。

警察本部長

昨年7月に全国警察が実施した自転車乗車用ヘルメットの着用率調査では、県内の着用率は13.1パーセントで、前年の10.8パーセントから増加したが、全国平均17.0パーセントを下回っており、乗車用ヘルメットの着用率については引き上げていく余地が大いにあると考えている。御指摘のあった事前の広報啓発や交通安全教育は重要と認識しており、県警察では、毎月15日の「自転車交通安全の日」における街頭での啓発をはじめ、各種広報媒体や自転車販売店を通じた広報啓発、自治体その他の関係機関・団体に対する働きかけなど、自転車の乗車用ヘルメット着用促進の取組を強化している。県警察としては、引き続き、自治体や関係機関・団体と連携しながら、乗車用ヘルメット着用促進を含めた良好な自転車交通秩序の実現のための諸対策を着実に推進していきたい。

(2)全国的に自転車ヘルメット着用への支援の動きが見られており、我が県でも県立高校でモデル事業を実施し、自転車ヘルメットの購入支援を進めるべきと考えるがどうか。

詳細は

渡辺勝幸ウェブサイト

(3)予算の充実だけでなく、「ヒートマップ」をもとに事故多発箇所や高齢者・自転車事故が多いエリアへの優先的な交通安全施設整備が必要と考えるがどうか。

詳細は

渡辺勝幸ウェブサイト

(4)小泉農水大臣の対応は評価しながらも、一方で様々な課題がある。数年前は米価の下落が大きな問題となっており、米の需要は年々低下。生産者の高齢化だけではなく肥料や資材などの物価高騰もあり、米価の下落が新たな担い手の確保を阻んでいるのが農政の現状。今後の米対策には長期的な農業の持続可能性、食料安全保障とのバランス、県産米のブランド価値の維持や生産者の意欲促進が重要だが、全国トップクラスの生産量を誇る我が県として、政府の備蓄米対応及び生産者の視点も含めた見解はどうか。

知事

今回、政府の随意契約による備蓄米放出については、米の流通円滑化と価格安定を目的としたスピード感のある対応であり、今後、備蓄米以外も含めた市場全体での米価安定につながるものと期待。一方で、米の国内消費が長期的に減少傾向にあり、資材高騰も続く中、生産者の経営安定のためには、需給安定と再生産可能な価格の確保が重要。このような中、国では、今般の米価高騰や備蓄米放出を踏まえ、米政策の検証や見直しを行うとのこと。県としては、国の動向等を注視しながら、今後とも関係機関と連携し、米の主産県として生産者が意欲を持ち、持続的な農業生産が可能となるよう取り組んでいく。

質問5／医療、福祉、少子化対策について

(1)東北労災病院の現地存続が経営悪化とすれば、今後の医療機能低下が懸念されるが、県の対応も含め見解はどうか。また、富谷市の総合病院公募に対する現状認識と支援策はどうか。

詳細は

渡辺勝幸ウェブサイト

(2)4病院再編により搬送時間を短縮するのではなく、医療機関の負担に見合わないとの声がある救急搬送の診療報酬を段階的に加算する制度も一考の余地があると思うがどうか。

詳細は

渡辺勝幸ウェブサイト

(3)令和4年11月定例会の一般質問において「長期入所病床の不足解消や単独型の医療型短期入所病床の増床整備など、重症心身障害児者やその家族が安心して暮らすための支援」について伺った。医療型短期入所事業所の地域偏在格差は解消されつつある一方で、障害福祉の医療的ケア中核拠点に偏りがあると思うが、現状の重症心身障害児者の課題について見解はどうか。

保健福祉部長

県内で主に重症心身障害児者を受け入れている医療型障害児入所施設は、4施設全てが仙台圏域にあり、その合計定員は561人、今年4月1日現在の待機者数は82人となっており、依然として長期入所病床が不足していると認識している。また、御家族のレスパイトを確保するための医療型短期入所事業所は12事業所まで増えたところだが、未設置の圏域もあるため、今年度から新たに「医療型短期入所事業所開設促進事業」を開始し、新規開設を促進することとしている。昨年度に県で行った実態等調査では、「重症心身障害児者を受け入れる施設が少なく、家族の負担が大きい」、「親の高齢化により将来の介護が不安」、「親亡き後の支援が必要」などの課題が見えてきた。県としては、重症心身障害児者及び御家族への支援については、長期及び短期の入所支援に加え、通所支援や訪問支援を含めた総合的な支援体制整備が必要と考えており、今後の支援の在り方について、関係機関や施設、仙台市等と協議し、必要な支援を行っていく。

(4)富谷市と県障害者スポーツ協会との連携協定締結以降、富谷市を拠点にパラスポーツ振興の取組が具体的に進んでおり、県として更なる障害者スポーツ支援を進めるべきと思うがどうか。

知事

障害者スポーツは、障害のある方の自己実現や社会参加を促進するとともに、障害に対する理解を深め、障害のある方もない方も相互に人格と個性を尊重し合う共生社会の実現に向けた、非常に重要な活動。県ではこれまで、各種競技の県大会開催と全国大会への選手団派遣、指導員やボランティアの養成などを行い、障害のある方がスポーツに参加する機会の充実と障害者スポーツ人口の拡大に取り組んできたほか、パラスリートとの交流会やボッチャ体験会などの開催を通して、障害のある方とない方の交流機会を創出してきた。今年度は、これまでの取組に加えて、「東京2025デフリンピック」のPRイベントを開催するほか、県障害者スポーツ協会が11月に富谷市で開催する「みやぎ小学生ボッチャクラシック2025」に協力。県としては、今後も、関係団体等と連携し、様々な取組を通じて障害者スポーツに対する支援を進めていく。

(5)出生数を減らさないため、他県や海外の成功事例を全て実施するという気概を持って少子化対策に取り組むべきと考えるが、現在どのような少子化対策を考えているのか。

詳細は

渡辺勝幸ウェブサイト



渡辺勝幸 わたなべ・かつゆき

昭和50年生まれ仙台市若林区出身。50歳。沖野中、仙台一高(46回応援団長)、慶應義塾大学学部卒。慶應大学院在学中より市川一朗参議院議員政策秘書(平成12年より22年)。平成26年仙台市立沖野東小PTA会長。平成27年宮城県議会議員(若林選挙区)初当選、現在3期目。平成30年自民党宮城県連青年局長。令和元年県議会環境福祉委員会委員長。仙台市立沖野中PTA会長。令和3年自由民主党・県議会議政務調査会長。令和5年自由民主党・県議会議幹事長。現在、自民党衆議院宮城2区(宮城野・若林・泉)支部長。宮城県議会総務企画委員長、議会運営委員会委員長、県民所得向上対策調査特別委員会委員。宮城県私立幼稚園PTA連合会会長。自民党・県議会交通運輸協議連会長、防衛議員連盟会長代理、医療福祉議連幹事長等。仙台市若林地区交通安全協会六郷支部顧問。宮城県障害者スポーツ協会常任理事等。



渡辺勝幸後援会

5/18

沖野コミュニティ・センター

第32回渡辺勝幸県政報告会を開催しました

6/7

六郷市民センター

渡辺勝幸時局講演会を開催しました

街頭活動102回！

平成23年より街頭活動を継続しています。令和5年11月から数えて8月19日現在で、102回目の街頭活動となりました。仙台市内で「つくる」ののぼりを見かけましたらお声がけください。

個人献金のお願い

地盤も看板もない渡辺勝幸の政治活動を支えるためには、皆様の力強いお支えが引き続き必要です。A4一枚の活動報告を5,000世帯に郵送するだけでも、110円×5,000世帯＝55万円の費用がかかります。切手1枚でも大変助かります。なお、献金いただけます場合は、事務所までご一報くださいますようよろしくお願い申し上げます。ボランティア・ポスティング活動へのご支援も合わせてお願いいたします！

宮城県議会議員 渡辺勝幸事務所

自民党宮城県第二選挙区支部

〒984-0816 仙台市若林区河原町1丁目7-29-101

TEL 022-398-6266 FAX 022-398-6269

チャンネル登録をお願いいたします！

YouTubeチャンネル

